



旭中通信

練馬区立旭丘中学校

学校通信 10月号

令和元年10月3日発行

不可能を可能に～スポーツから学んだこと～

校長 渡邊 重幸

早いもので、2020年7月24日午後8時 東京オリンピック開幕式まで、あと295日、東京パラリンピック開会式まで327日となりました。いろいろな競技で内定選手が決まってきました。9月15日のMGC（マラソングランドチャンピオンシップ）では、富士通の中村匠吾選手、トヨタ自動車の服部勇馬選手、天満屋の前田穂南選手、日本郵政グループの鈴木亜由子選手が内定を決めました。おめでとうございます。

さて、本校でも9月27日（金）にオリンピック・パラリンピック教育の一環として講演会および実技講習会を行いました。講師はバルセロナオリンピック 銅メダリストのヨーコゼッターランド先生です。

ヨーコ先生は、6歳の時に日本へ移り、中学、高校とバレーボールのセッターとして全国的に活躍しました。文京区立第十中学校では、全日本中学校選手権で優勝し、中村高校では春高



バレー・インターハイで3位入賞を果たしました。高校卒業後、早稲田大学へ進学し関東大学リーグ6部だったチームを2部優勝へ導きました。一方で、当時の日本バレー界では、高校卒業後、実業団の強豪チームへ進んだ選手から日本代表を選出するのが一般的であり、早稲田大学へ進んだヨーコ先生が選出されることはありませんでした。五輪出場を切望していたヨーコ先生は、二重国籍であったため、アメリカ国籍を取得することを選び、アメリカナショナルチームのトライアウトを受験し合格しました。そして、アメリカ代表として、バルセロナ、アトランタ五輪の出場を果たしました。その後、日本のバレー界へ戻り、東芝シーガルス、オレンジアタッカーズでプレーしました。現在は、バレーボール界だけでなく、スポーツや教育へ幅広く携わっています。

当日、5校時に全校生徒を対象として、講演会を行いました。演題は「不可能を可能に～スポーツから学んだこと～」でした。一度はあきらめたオリンピックを努力の末、出場することができました。夢に挑戦することの大切さや逆境を乗り越える強さについて語っていただきました。6校時は3年生を対象に実技講習が行われました。オーバーパスやアンダーパスなど基本プレーを行いました。女子のワールドカップバレー2019も開催中ということもあり、大変盛り上がりました。

本来ならばここで終了ですが、ヨーコ先生のご厚意によりバレー部の練習もご指導いただきました。おかげで、29日の新人戦ではブロック大会出場を決めることができました。

＜ヨーコゼッターランド先生によるバレーボール教室＞



＜職場体験（第2学年）＞



＜10月の行事予定＞

【夢先生】JFA主催「こころのプロジェクト」

日 時 10月10日（木）10時45分～
15時20分

場 所 旭丘中学校 体育館および第2学年教室

対 象 第2学年A・B組

講 師 市河 麻由美 先生

講師紹介

2000年 北海道マラソン優勝

2001年 名古屋国際女子マラソンで自己最高となる2時間27分22秒を記録

現在は陸上競技の指導者として活躍

内 容（クラスごとに行います）

「ゲームの時間」 30分

「夢先生のトークの時間」 60分



【命の授業】

日 時 10月31日（木）13時30分～
14時20分

場 所 旭丘中学校 体育館

対 象 全校生徒

講 師 菊地幸夫弁護士

講師紹介

番町法律事務所（第二東京弁護士会）所属

「行列のできる法律相談所」「スッキリ」などの番組に多数出演

演 題 「命の大切さ」

内 容

13時30分 講 話

14時15分 質疑応答

＜問い合わせ先＞

3957-3133 溝口副校長まで

